

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成21年12月15日
【四半期会計期間】	第80期第3四半期（自平成21年8月1日至平成21年10月31日）
【会社名】	モロゾフ株式会社
【英訳名】	Morozoff Limited
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川喜多 佑一
【本店の所在の場所】	神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は六甲アイランドオフィスで行っております。）
【電話番号】	078(822)5000(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 尾崎 史朗
【最寄りの連絡場所】	神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地
【電話番号】	078(822)5000(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 尾崎 史朗
【縦覧に供する場所】	モロゾフ株式会社六甲アイランドオフィス （神戸市東灘区向洋町西五丁目3番地） モロゾフ株式会社東京支店 （東京都新宿区下宮比町2番1号 第一勧銀稲垣ビル5階） モロゾフ株式会社関西支店 （神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号） モロゾフ株式会社名古屋支店 （名古屋市中区栄三丁目7番20号 日土地栄町ビル4階） モロゾフ株式会社福岡支店 （福岡市博多区博多駅南六丁目13番33号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の当社福岡支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため、特に縦覧に供するものではありません。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第3四半期 累計期間	第80期 第3四半期 会計期間	第79期
会計期間	自平成21年 2月1日 至平成21年 10月31日	自平成21年 8月1日 至平成21年 10月31日	自平成20年 2月1日 至平成21年 1月31日
売上高(千円)	18,045,396	4,598,355	27,930,786
経常利益又は経常損失()(千円)	764,871	943,430	569,346
四半期(当期)純損失()(千円)	997,886	816,705	18,964
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	-	3,737,467	3,737,467
発行済株式総数(株)	-	36,692,267	36,692,267
純資産額(千円)	-	10,267,978	11,486,819
総資産額(千円)	-	19,100,164	19,231,708
1株当たり純資産額(円)	-	282.55	316.00
1株当たり四半期(当期)純損失金額()(円)	27.46	22.47	0.52
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	6.00
自己資本比率(%)	-	53.8	59.7
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,182,722	-	780,293
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,652,636	-	999,986
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	681,987	-	346,958
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	894,714	682,641
従業員数(人)	-	852	852

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期会計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

該当事項はありません。

4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年10月31日現在

従業員数(人)	852 (1,271)
---------	-------------

(注)従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1)生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績は、次のとおりであります。

区分	当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
干菓子群(千円)	4,926,389
洋生菓子群(千円)	1,705,388
計(千円)	6,631,777

- (注) 1. 生産実績は販売価額相当金額で表示しております。
 2. 干菓子群、洋生菓子群にはその他菓子群製品及び半製品が含まれております。
 3. 他に他社製品仕入実績が仕入金額で392,104千円あります。
 4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)受注状況

当社は見込生産を行っているため、該当事項はありません。

(3)販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を事業部門別商品群別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
干菓子群(千円)	2,329,527
洋生菓子群(千円)	1,633,817
その他菓子群(千円)	189,343
菓子部門計(千円)	4,152,689
喫茶・レストラン(千円)	445,665
合計(千円)	4,598,355

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 当社の売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマス等の大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

2【事業等のリスク】

当第3四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態及び経営成績の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、景気に一部持ち直しの動きが見られたものの、所得の減少や雇用情勢の一層の悪化などから、個人消費が低迷を続ける厳しい状況で推移しました。

このような状況のもとで、当社はお菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢とし、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、「すべてはお客様の笑顔のために」を基本とし、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、秋にリニューアルを行った半生菓子の復調はあったものの、中元商戦は贈答需要の低迷などにより苦戦を強いられ、デイリーユース向けの洋生菓子が個人消費の冷え込みや天候不順などの影響により低調に推移し、当第3四半期会計期間の売上高は4,598百万円となりました。

損益面におきましては、減収により損益分岐点売上高を下回り、また神戸深江浜物流センター業務のアウトソーシングに伴う初期費用の発生などの要因もあり、営業損失は938百万円、経常損失は943百万円、四半期純損失は816百万円となりました。

(2)財政状態

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ131百万円減少し、19,100百万円となりました。資産の増減の主なものは、仕掛品の増加額934百万円、有価証券の増加額299百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,612百万円であります。負債は前事業年度末に比べ1,087百万円増加し、8,832百万円となりました。これは主に西神新工場建設に伴う短期借入金の増加額900百万円によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ1,218百万円減少し、10,267百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額1,073百万円、土地再評価差額金の減少額142百万円によるものであります。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第2四半期会計期間末に比べ552百万円減少し、当第3四半期会計期間末には894百万円となりました。

当第3四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における営業活動の結果使用した資金は517百万円となりました。これは主にたな卸資産の増加額1,509百万円、売上債権の減少額1,084百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における投資活動の結果使用した資金は934百万円となりました。これは主に有価証券の売却による収入999百万円、有価証券の取得による支出599百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出1,338百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期会計期間における財務活動の結果得られた資金は899百万円となりました。これは主に短期借入金の純増額900百万円によるものです。

(4)事実上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

当第3四半期会計期間における研究開発活動の金額は、101,339千円であります。

なお、当第3四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期会計期間において、当社が取得した主要な設備は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	帳簿価額(千円)					従業員数 (人)
		建物及び構 築物	機械装置及 び 運搬具	土地 (面積㎡)	その他	合計	
西神工場 (神戸市 西区)	干菓子、 洋生菓子 生産設備	1,762,281	165,416	-	15,146	1,942,843	-

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年12月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	36,692,267	36,692,267	大阪証券取引所 東京証券取引所 各市場第一部	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株 式であり、単元株式数は 1,000株であります。
計	36,692,267	36,692,267	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年8月1日～ 平成21年10月31日	-	36,692,267	-	3,737,467	-	3,918,352

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
ん。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年7月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 352,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 35,767,000	35,767	同上
単元未満株式	普通株式 573,267	-	同上
発行済株式総数	36,692,267	-	-
総株主の議決権	-	35,767	-

【自己株式等】

平成21年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
モロゾフ株式会社	神戸市東灘区御影本町六丁目11番19号	352,000	-	352,000	0.95
計	-	352,000	-	352,000	0.95

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
最高(円)	299	320	316	310	315	314	312	305	316
最低(円)	273	284	291	301	302	305	303	292	298

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部によるものであります。

3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の様動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、当第3四半期会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成21年2月1日から平成21年10月31日まで）については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第6条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び当第3四半期累計期間（平成21年2月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	294,511	382,318
受取手形及び売掛金	1,840,487	4,453,146
有価証券	630,213	330,242
商品及び製品	1,847,317	2,117,898
仕掛品	1,185,585	251,298
原材料及び貯蔵品	431,064	404,928
その他	676,595	315,319
貸倒引当金	7,600	17,700
流動資産合計	6,898,175	8,237,452
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,305,390	1,802,619
土地	4,229,168	4,521,681
その他(純額)	2,122,587	1,794,726
有形固定資産合計	9,657,147	8,119,026
無形固定資産		
	113,015	123,309
投資その他の資産		
投資有価証券	1,310,633	1,318,980
その他	1,147,491	1,459,039
貸倒引当金	26,300	26,100
投資その他の資産合計	2,431,825	2,751,919
固定資産合計	12,201,989	10,994,255
資産合計	19,100,164	19,231,708

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,659,248	2,977,872
短期借入金	2,750,000	1,850,000
未払法人税等	96,111	314,704
賞与引当金	611,993	304,490
その他	1,932,543	1,321,791
流動負債合計	8,049,897	6,768,857
固定負債		
退職給付引当金	52,412	52,144
その他	729,876	923,886
固定負債合計	782,288	976,031
負債合計	8,832,186	7,744,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,053	3,920,840
利益剰余金	2,678,992	3,752,015
自己株式	88,613	85,155
株主資本合計	10,248,900	11,325,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,881	40,486
土地再評価差額金	21,804	121,164
評価・換算差額等合計	19,077	161,650
純資産合計	10,267,978	11,486,819
負債純資産合計	19,100,164	19,231,708

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)
売上高	18,045,396
売上原価	10,079,650
売上総利益	7,965,745
販売費及び一般管理費	8,778,005
営業損失()	812,260
営業外収益	
受取利息	7,863
受取配当金	23,901
受取賃貸料	10,592
その他	43,890
営業外収益合計	86,248
営業外費用	
支払利息	23,839
賃貸費用	7,303
その他	7,716
営業外費用合計	38,859
経常損失()	764,871
特別利益	
固定資産売却益	199
貸倒引当金戻入額	10,148
特別利益合計	10,348
特別損失	
固定資産除売却損	62,511
減損損失	409,876
特別損失合計	472,387
税引前四半期純損失()	1,226,910
法人税、住民税及び事業税	56,260
法人税等調整額	285,284
法人税等合計	229,023
四半期純損失()	997,886

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
売上高	1 4,598,355
売上原価	2,627,580
売上総利益	1,970,774
販売費及び一般管理費	2 2,909,463
営業損失()	938,689
営業外収益	
受取利息	857
受取配当金	803
受取賃貸料	3,476
その他	6,033
営業外収益合計	11,169
営業外費用	
支払利息	8,860
賃貸費用	2,458
その他	4,592
営業外費用合計	15,910
経常損失()	943,430
特別利益	
固定資産売却益	199
貸倒引当金戻入額	4,300
特別利益合計	4,499
特別損失	
固定資産除売却損	25,716
特別損失合計	25,716
税引前四半期純損失()	964,647
法人税、住民税及び事業税	87,808
法人税等調整額	60,132
法人税等合計	147,941
四半期純損失()	816,705

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失()	1,226,910
減価償却費	546,234
減損損失	409,876
賞与引当金の増減額(は減少)	307,503
退職給付引当金の増減額(は減少)	267
前払年金費用の増減額(は増加)	287,949
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,900
支払利息	23,839
受取利息及び受取配当金	31,765
固定資産除売却損益(は益)	62,311
売上債権の増減額(は増加)	2,612,658
たな卸資産の増減額(は増加)	689,842
仕入債務の増減額(は減少)	318,623
その他	330,965
小計	1,642,633
利息及び配当金の受取額	29,054
利息の支払額	26,951
法人税等の支払額	462,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,182,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	300,000
定期預金の払戻による収入	300,000
有価証券の取得による支出	2,944,461
有価証券の売却による収入	2,947,192
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,690,394
有形及び無形固定資産の売却による収入	6,972
投資有価証券の取得による支出	3,485
その他	31,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,652,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	900,000
配当金の支払額	214,768
その他	3,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	681,987
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	212,073
現金及び現金同等物の期首残高	682,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,714

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

重要な該当事項はありません。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)
(有形固定資産の耐用年数の変更) 当社は、平成20年度の法人税法の改正を契機として 資産の利用状況等を見直した結果、機械及び装置の耐 用年数を変更しております。 この変更による損益に与える影響は軽微でありま す。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)	前事業年度末 (平成21年1月31日)
有形固定資産の減価償却累計額 11,326,139千円	有形固定資産の減価償却累計額 11,442,164千円

(四半期損益計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料手当、賞与	3,768,718 千円
賞与引当金繰入額	381,866
退職給付費用	281,353
貸倒引当金繰入額	248

当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
1 当社の売上高は季節の変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマス等の大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。	
2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料手当、賞与	1,133,002 千円
賞与引当金繰入額	201,903
退職給付費用	95,843

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年10月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	294,511
有価証券	630,213
計	924,724
満期または、償還日までの期限が3ヶ月を超える有価証券	30,009
現金及び現金同等物	894,714

(株主資本等関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年10月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 36,692,267株

2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 352,186株

3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。

4. 配当に関する事項
配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年4月24日 定時株主総会	普通株式	218,105千円	6円	平成21年 1月31日	平成21年 4月27日	利益剰余金

(有価証券関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年10月31日)

事業の運営において重要なものであり、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期会計期間末(平成21年10月31日)

当社は、デリバティブ取引を全く利用しておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)及び当第3四半期会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期会計期間(自平成21年8月1日至平成21年10月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期会計期間末 (平成21年10月31日)		前事業年度末 (平成21年1月31日)	
1株当たり純資産額	282.55円	1株当たり純資産額	316.00円

2. 1株当たり四半期純損失金額

当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)		当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	27.46円	1株当たり四半期純損失金額	22.47円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年10月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)
四半期純損失(千円)	997,886	816,705
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	997,886	816,705
期中平均株式数(株)	36,342,541	36,340,074

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期累計期間(自平成21年2月1日至平成21年10月31日)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期会計期間末におけるリース取引残高は前事業年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載していません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年12月9日

モロゾフ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 片岡 茂彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモロゾフ株式会社の平成21年2月1日から平成22年1月31日までの第80期事業年度の第3四半期会計期間（平成21年8月1日から平成21年10月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成21年2月1日から平成21年10月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、モロゾフ株式会社の平成21年10月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期会計期間及び第3四半期累計期間の経営成績並びに第3四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。